

### Ⅲ 離床を行う上での基礎技術

#### Ⅲ-8. 体位変換・ポジショニング手技

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル	
□Ⅲ-8.1 ポジショニング (背臥位)	□Ⅲ-8.1.1 実施目的について 理解している	□背臥位が有用な場合を2つ以上挙げられる	K-04 ベーシ J-01 体位変換 J-08 人工実技  脳ガイド P185		○	
		□背臥位姿勢の利点について説明できる	K-04 ベーシ J-01 体位変換 J-08 人工実技		○	
		□背臥位姿勢の褥瘡好発部位について説明できる	完全2 P12-P20		○	
		□背臥位姿勢よって起こりうる合併症を2つ以上 挙げられる			○	
	□Ⅲ-8.1.3 注意点・禁忌など について理解して いる	□背臥位が禁忌となる状態（場合）について説明 できる	K-04 ベーシ J-01 体位変換		○	
		□Ⅲ-8.1.4 背臥位にて適切な ポジショニングが 実施できる	□患者を離床した状態（ベッド上端座位）から背 臥位にすることができる	J-01 体位変換 J-08 人工実技		◇
			□患者を離床した状態（ベッド上端座位）から背 臥位にする場合の留意点について説明できる			◇
	□Ⅲ-8.1.5 チェックポイント に沿って最終確認 ができる	□1人の介助者で患者を離床した状態（ベッド上 端座位）から背臥位にすることが困難な場合の 対処法について説明できる			◇	
		□クッション等を用いて適切に除圧できる			◇	
		□背臥位への姿勢変換後に病衣・シーツを適切に 直すことができる			◇	
		□患者の姿勢は適切か確認できる	J-01 体位変換 J-08 人工実技		☆	
		□適切に除圧できているか確認できる			☆	
	□Ⅲ-8.2 ポジショニング (30°側臥位)	□Ⅲ-8.2.1 実施目的について 理解している	□合併症への配慮がされているか確認できる			☆
			□30°側臥位が有用な場合を2つ以上挙げられる	J-01 体位変換 J-08 人工実技		○
		□Ⅲ-8.2.2 利点・弊害・合併 症について理解し ている	□30°側臥位の利点（効果）について説明できる	J-01 体位変換 J-08 人工実技		○
□30°側臥位の褥瘡好発部位について説明できる					○	
□30°側臥位よって起こりうる合併症を2つ以上 挙げられる					○	
□Ⅲ-8.2.3 注意点・禁忌など について理解して いる		□30°側臥位となる状態（場合）について説明で きる	J-01 体位変換 J-08 人工実技		○	

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅲ-8.2.4 環境設定への配慮 について理解して いる	□30°側臥位に適切なベッド位置・角度の調節が できる	J-01 体位変換 J-08 人工実技		○
		□30°側臥位に適切なシーツの調整ができる			○
		□30°側臥位に適切なクッションなどを準備でき る			○
	□Ⅲ-8.2.5 30°側臥位にて 適切なポジショ ニングが実施できる	□患者を背臥位から30°側臥位にすることができ る	J-01 体位変換 J-08 人工実技		◇
		□患者を背臥位から30°側臥位にする場合の留意 点について説明できる			◇
		□クッション等を用いて適切に除圧できる			◇
		□30°側臥位に姿勢変換後、病衣・シーツを適切 に直すことができる			◇
	□Ⅲ-8.2.6 チェックポイント に沿って最終確認 ができる	□患者の状態を確認できる	J-01 体位変換 J-08 人工実技		☆
		□患者の姿勢は適切か確認できる			☆
		□適切に除圧できているか確認できる			☆
		□合併症への配慮がされているか確認できる			☆
□Ⅲ-8.3 ポジショニング (前傾側臥位)	□Ⅲ-8.3.1 実施目的について 理解している	□前傾側臥位が必要な状態について説明できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P176		○
	□Ⅲ-8.3.2 利点・弊害・合併 症について理解し ている	□前傾側臥位の利点について説明できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P176		○
		□前傾側臥位の合併症（褥瘡・神経圧迫等）を3 つ以上説明できる	完全2 P177		○
	□Ⅲ-8.3.3 注意点・禁忌など について理解して いる	□前傾側臥位が禁忌となる状態および前傾側臥位 での注意点について説明できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P177		○
	□Ⅲ-8.3.4 実施における留意 点について理解し ている	□クッションによる神経圧迫や点滴類・人工呼吸 器回路などの扱いについて説明できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 J-08 人工実技		○
	□Ⅲ-8.3.5 環境設定への配慮 について理解して いる	□前傾側臥位を行う前に適切なベッド位置・角度 の調節ができる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 J-08 人工実技		○
		□前傾側臥位を行う前に適切な患者の位置を調整 できる	完全2 P176-P177 脳ガイド P186		○
		□前傾側臥位を行う前に適切なクッションなどを 準備できる	完全2 P176-P177		○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅲ-8.3.6 前傾側臥位が実施 できる	□安全に側方移動ができる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P176-P177 脳ガイド P186		◇
		□クッション・枕の位置を調整できる	完全2 P176-P177 脳ガイド P186		◇
		□側臥位まで体位変換し、上側の下肢を前に出し 安定した側臥位をとれる	完全2 P176-P177		◇
		□肩甲帯・骨盤帯を介助して前傾側臥位をとれる	完全2 P176-P177 脳ガイド186		◇
	□Ⅲ-8.3.7 チェックポイント に沿って最終確認 ができる	□患者の状態を確認できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P176-P177 脳ガイド P186		☆
		□患者の姿勢は適切か確認できる	完全2 P176-P177 脳ガイド P186		☆
		□適切に除圧できているか確認できる	完全2 P176-P177 脳ガイド P186		☆
		□合併症への配慮がされているか確認できる	完全2 P178		☆
□Ⅲ-8.4 ポジショニング (腹臥位)	□Ⅲ-8.4.1 実施目的について 理解している	□腹臥位が必要な状態について説明できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P178		○
	□Ⅲ-8.4.2 利点・弊害・合併 症について理解し ている	□腹臥位の利点について説明できる	K-05 実技入門 J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P178		○
		□腹臥位の合併症（褥瘡・ライン類等）について 3つ以上挙げられる			○
	□Ⅲ-8.4.3 注意点・禁忌など について理解して いる	□腹臥位が禁忌となる状態および腹臥位での注意 点について説明できる	J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P178		○
	□Ⅲ-8.4.4 実施における留意 点について理解し ている	□点滴類・人工呼吸器回路などの扱いについて説 明できる	J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P178		○
		□患者の状態により人工呼吸器回路の取り扱いが 異なる事について説明できる			○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅲ-8.4.5 環境設定への配慮 について理解して いる	□ 腹臥位を行う前に適切なベッド位置・角度の調 節ができる	J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P178-P179		○
		□ 腹臥位を行う前に適切な患者の位置を調整でき る			○
		□ 腹臥位を行う前に適切なクッションなどを準備 できる			○
	□Ⅲ-8.4.6 腹臥位が実施でき る	□ 安全に側方移動ができる	J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P178-P179		◇
		□ クッション・枕の位置を調整できる			◇
		□ 下側になる上肢の位置を調整し、側臥位まで体 位変換し、上側の下肢を前に出し安定した側臥 位をとれる			◇
		□ 2人介助にて腹臥位をとれる			◇
	□Ⅲ-8.4.7 チェックポイント に沿って最終確認 ができる	□ 患者の状態を確認できる	J-01 体位変換 J-08 人工実技  完全2 P178-P179		☆
		□ 患者の姿勢は適切か確認できる			☆
		□ 適切に除圧できているか確認できる			☆
		□ 合併症への配慮がされているか確認できる			☆
□Ⅲ-8.5 HeadUp座位	□Ⅲ-8.5.1 実施目的について 理解している	□ Head Up 座位が必要な状態について説明でき る	K-05 実技入門 J-08 人工実技  脳ガイド P187		○
	□Ⅲ-8.5.2 利点・弊害・合併 症について理解し ている	□ Head Up 座位の利点について説明できる	K-05 実技入門 J-08 人工実技  完全2 P180-P181		○
		□ Head Up 座位の合併症（褥瘡・ライン類等） を3つ以上説明できる			○
	□Ⅲ-8.5.3 注意点・禁忌など について理解して いる	□ Head Up 座位が禁忌となる状態およびヘッド アップでの注意点について説明できる	K-05 実技入門 J-08 人工実技  完全2 P180-P181 脳ガイド P187		○
	□Ⅲ-8.5.4 実施における留意 点について理解し ている	□ Head Up 座位を行う上での患者の位置・点滴 類・人工呼吸器回路などの扱いについて説明でき る	K-05 実技入門 J-08 人工実技  完全2 P180-P181 脳ガイド P187		○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅲ-8.5.5 環境設定への配慮 について理解して いる	□ Head Up 座位を行う前に適切なベッド位置・ 角度の調節ができる	K-05 実技入門 J-08 人工実技  完全2 P180-P181 脳ガイド P187		○
		□ Head Up 座位を行う前に適切な患者の位置を 調整できる			○
		□ Head Up 座位を行う前に適切なクッションな などを準備できる			○
	□Ⅲ-8.5.6 HeadUp座位を 実施できる	□ 安全に上方移動ができる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-08 人工実技  完全2 P180-P181 脳ガイド P187		◇
		□ 患者の位置を調整できる			◇
		□ 下肢から上げ、適切な位置までHead Up でき る			◇
		□ 背抜き等の褥瘡対策ができる			◇
	□Ⅲ-8.5.7 チェックポイント に沿って最終確認 ができる	□ 患者の状態を確認できる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-08 人工実技  完全2 P180- 181 脳ガイド P187		☆
		□ 患者の姿勢は適切か確認できる			☆
		□ 適切に除圧できているか確認できる			☆
		□ 合併症への配慮がされているか確認できる			☆
□Ⅲ-8.6 端坐位	□Ⅲ-8.6.1 実施目的について 理解している	□ 端坐位が必要な状態について説明できる	K-05 実技入門 J-08 人工実技		○
	□Ⅲ-8.6.2 利点・弊害・合併 症について理解し ている	□ 端坐位の利点について説明できる	K-05 実技入門 J-08 人工実技		○
		□ 端坐位の合併症（褥瘡・起立性低血圧等）を3 つ以上説明できる			○
	□Ⅲ-8.6.3 注意点・禁忌など について理解して いる	□ 端坐位が禁忌となる状態および端坐位での注意 点について説明できる	K-05 実技入門 J-08 人工実技		○
	□Ⅲ-8.6.4 実施における留意 点について理解し ている	□ 端坐位を行う上での患者の位置・点滴類・人工 呼吸器回路などの扱いについて説明できる	K-05 実技入門 J-08 人工実技		○
	□Ⅲ-8.6.5 環境設定への配慮 について理解して いる	□ 端坐位を行う前に適切なベッド位置・高さの調 節ができる	K-05 実技入門 J-08 人工実技		○
		□ 端坐位を行う前に適切な患者の位置を調整でき る			○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
		<input type="checkbox"/> 端坐位を行う前に適切な周辺機器の準備・調整ができる			○
	□Ⅲ-8.6.6 端坐位を実施できる	<input type="checkbox"/> 側臥位経由またはヘッドアップ経由を選択できる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-02 移乗動作		◇
		<input type="checkbox"/> 患者の位置を調整できる			◇
		<input type="checkbox"/> 患者の残存機能を活かした介助ができる			◇
		<input type="checkbox"/> ライン類への配慮が行え、起立性低血圧への対応が行える			◇
	□Ⅲ-8.6.7 チェックポイントに沿って最終確認ができる	<input type="checkbox"/> 患者の状態を確認できる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-02 移乗動作		☆
		<input type="checkbox"/> 患者の姿勢は適切か確認できる			☆
		<input type="checkbox"/> 安全な姿勢が保てているか確認できる			☆
		<input type="checkbox"/> 合併症への配慮がされているか確認できる	脳ガイド P188		☆
□Ⅲ-8.7 車椅子坐位	□Ⅲ-8.7.1 実施目的について理解している	<input type="checkbox"/> 車椅子坐位が必要な状態について説明できる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-02 移乗動作 J-16 シート  脳ガイド P188		○
	□Ⅲ-8.7.2 利点・弊害・合併症について理解している	<input type="checkbox"/> 車椅子坐位の利点について説明できる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-02 移乗動作 J-16 シート  脳ガイド P188		○
		<input type="checkbox"/> 車椅子坐位の合併症（褥瘡・拘縮等）を3つ以上説明できる			○
	□Ⅲ-8.7.3 注意点・禁忌などについて理解している	<input type="checkbox"/> 車椅子坐位が禁忌となる状態および車椅子坐位での注意点について説明できる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-02 移乗動作		○
	□Ⅲ-8.7.4 実施における留意点について理解している	<input type="checkbox"/> 車椅子坐位を行う上での患者の位置・点滴類・人工呼吸器回路などの扱いについて説明できる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-02 移乗動作  完全2 P183-P184 脳ガイド P204-P219		○
	□Ⅲ-8.7.5 環境設定への配慮について理解している	<input type="checkbox"/> 車椅子坐位を行う前に適切な車椅子の選定・座面等の調節ができる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-02 移乗動作 J-16 シート  脳ガイド P188		○
		<input type="checkbox"/> 車椅子坐位を行う前に適切な患者の位置を調整できる			○
		<input type="checkbox"/> 車椅子坐位を行う前に適切な周辺機器の準備・調整ができる			○

大項目	中項目	小項目	リンク・備考	回答	レベル
	□Ⅲ-8.7.6 車椅子坐位保持が 実施できる	□患者の位置を調整できる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-02 移乗動作 J-16 シート  脳ガイド P188		◇
		□患者の残存機能を活かし、ADL拡大への準備 ができる			◇
		□ライン類への配慮が行え、車椅子自走に向けた 準備ができる			◇
	□Ⅲ-8.7.7 チェックポイント に沿って最終確認 ができる	□患者の状態を確認できる	K-04 ベーシ K-05 実技入門 J-02 移乗動作 J-16 シート  脳ガイド P188		☆
		□患者の姿勢は適切か確認できる			☆
		□安全な姿勢が保てているか確認できる			☆
		□合併症への配慮がされているか確認できる			☆

Ⅲ  
8

体位変換・ポジショニング手技

大項目	中項目	小項目	確認印
／ 7	／ 46	／ 109	

中項目の点数はP153  
に転記して  
下さい